

# 次世代 ふちのベ ニュース

## Vol.31

### 【事業の考え方】

公共施設の再整備などを中心としたまちづくりを「第1ステップ」、駅前自転車駐車場の再整備を含む駅前市有地の有効活用等を「第2ステップ」と位置付け、次世代へ引き継ぐまちづくりを一体的かつ段階的に進めます。

## 淵野辺駅南口周辺まちづくり事業（第1ステップ）の事業者選定手続きを開始しました。

事業の進捗状況についてお知らせします。

### 【複合化対象施設】

以下の6施設を集約・複合化します。

- 図書館・視聴覚ライブラリー
- 大野北公民館
- 大野北まちづくりセンター
- 青少年学習センター
- あさひ児童館
- さがみはら国際交流ラウンジ



### 第2ステップ

#### 【駅前市有地等】

- ・駅前での機能維持を前提に再整備（自転車駐車場）
- ・自転車駐車場再整備での活用（まちセン・公民館等敷地）
- ・売却・貸付け等による財源確保

### 第1ステップ

#### 【鹿沼公園】

- ・残す施設⇒児童交通公園、白鳥池、遊具広場、築山
- ・位置を検討し、残す施設⇒テニスコート
- ・廃止施設⇒軟式野球場、水生植物池

#### 【敷地の一体的な利用】

複合施設整備に伴う鹿沼公園への影響を抑えるため、鹿沼公園と図書館敷地を一体的に利用して再整備を行います。

## 民間事業者との対話を踏まえ、第1ステップの事業者選定手続きを開始しました。

これまで市民の皆さまからいただいたご意見を踏まえて策定した「次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりプラン～鹿沼公園・複合施設整備基本計画～」に基づき、令和7年10月に本事業の実施方針や要求水準書案を作成し、民間事業者との対話を行いました。

対話は、民間事業者の創意工夫を發揮してもらうために実施したもので、複合施設や公園施設の配置等に関することや事業費の考え方など、幅広く対話を行いました。

こうした経過を踏まえ、本事業の第1ステップである公共施設の再整備を中心としたまちづくりの実施に向けて、PFI方式で実施することとし、令和8年4月に入札公告を行い、事業者選定手続きを開始したところです。

### 事業者選定スケジュール

#### R8.4 PFI法第8条に基づき入札手続きを開始

⇒一般競争入札（総合評価落札方式）とし、事業者等選定委員会※において提案審査

事業者等選定委員会は、これまで市民検討会等における検討にご参画いただいた学識経験者を含む6名で構成しています。

#### R8.12 事業者等選定委員会による最優秀提案者の選定を踏まえ、落札者を決定

#### R9.3 市議会において事業契約締結の議決（PFI法第12条）

### 要求水準書とは

民間事業者に対して市が最低限求める施設やサービスの水準を定めるもので、民間事業者は、これを踏まえ、より魅力ある実施内容を市に提案します。

#### （例）【全体計画】

- ◆憩いと交流のゾーン
  - ・現在の鹿沼公園に不足している休憩できるスペースや、多世代が交流できる広場空間として、ピクニックなどの個人利用や地域のイベントなど、多機能な用途での活用ができるゾーンとして整備すること。

#### （例）【複合施設整備】

- ◆フリースペース
  - ・フリースペースと窓口の待合スペースを一体的な空間とし、相互利用可能な場所とすること。
  - ・フリースペースには、テーブルと椅子を全体で150席程度を確保すること。

#### （例）【運營業務】

- ◆青少年支援業務
  - ・青少年が安心して居心地よく複合施設を利用できるよう、年齢や興味関心に応じた空間づくりやプログラムの提供を行うこと。
  - ・青少年の自主性や社会性を育む活動を支援し、地域とのつながりを促進すること。

## 第1ステップの想定スケジュール（事業契約後）

設計・建設から供用開始までの想定スケジュールは以下のとおりです。

詳細なスケジュールは、民間事業者の提案に基づき市との協議により定めます。

なお、供用開始後の維持管理期間を含めた全体の契約期間は令和28年3月までを予定しています。

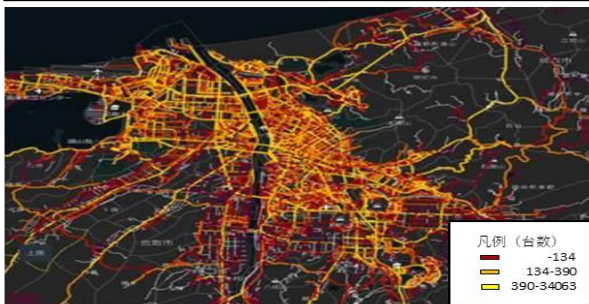
	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度
複合施設	設計		建設	開館準備		供用		
鹿沼公園	都市計画変更手続等	設計	公園改修（部分供用しながらゾーンごとに改修・開園）					供用
臨時駐車場		建設	供用				撤去	
駐車場ゾーン	既存施設（図書館）の供用 ※、本事業対象外			移転	解体撤去 (図書館)	建設	供用	

## 第2ステップの取組内容

令和8年度は、GPSの位置情報を活用し、淵野辺駅南口周辺の人流分析や将来予測を行うとともに、現在や将来のまちの姿を仮想空間上で表現しながら、駅前に相応しい土地利用や駅前広場等の周辺インフラの整備について検討していきます。

### 人流

- GPSの位置情報をもとに、人や車等の移動時間、経路、回遊行動等を把握し、分析
- まちの変化に応じた人の動きの変化をシミュレーション



▲人流データを活用した道路交通量の分析 ※イメージ

### 可視化

- 人流を基に、現状及びシミュレーション後のまちの姿を3D都市モデルのVRによる可視化
- 歩行者、ドライバー目線による表現 等



▲3D都市モデルのVRによる表現(可視化) ※ イメージ

例えば、自転車駐車場の位置を変えることで、人の流れがどう変わるか、混雑の状況がどの程度改善されるかシミュレーションを行い、その結果をVRにより可視化することができます。これらのツールは、今後、(仮称)駅前市有地活用等基本計画の策定に向けた検討の際に活用する予定です。

次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりに関する情報は、市ホームページでご覧いただけます。

<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/shisei/1026823/machitsukuri/1015393/>



★次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりに関するお問い合わせ先はこちらです。

- 【事業全体について】 政策課 (電話：042-769-8203)
- 【鹿沼公園について】 公園課 (電話：042-769-8243)
- 【まちづくりについて】 都市計画課 (電話：042-769-8247)
- 【複合施設について】 生涯学習課 (電話：042-769-8286)
- E-mail: seisaku@city.sagamihara.kanagawa.jp

引き続き、淵野辺駅南口周辺のまちづくりについて、情報発信をしていきます。ぜひご覧ください。

